

くらしを豊かにする総務省の情報誌

Ministry of  
Internal Affairs and  
Communications



MIC

# 総務省

5月号

2017 May | Vol.197

特集

平成29年度

「電波の日・

情報通信月間」

記念式典を開催



地方のかがやき

〔沖縄県〕

久米島町

先端技術が生まれ、  
未来を担う人が育つ。  
海流の島で夢をつむぐ人々

くらしを豊かにする総務省の情報誌

# 総務省

5月号  
2017 May  
Vol.197



発行：総務省 <http://www.soumu.go.jp/>  
制作：株式会社KADOKAWA 編集：大矢麻利子 西上範生  
アートディレクション：片野宏之(Zapp!) デザイン：柳田美樹(Zapp!)  
イラスト：中山ゆかり

## CONTENTS

04 **特集** 平成29年度  
「電波の日・情報通信月間」  
記念式典を開催

08 **MIC NEWS 01**  
地方移住や地域の魅力を様々な視点で発信  
「ローカルライフを楽しもう! 移住交流フェア」が開催されました

10 **MIC NEWS 02**  
平成28年度  
ふるさとづくり大賞の受賞者を紹介します

12 **MIC NEWS 03**  
地域ICTサミット2016で  
「ICT地域活性化大賞2016」の表彰式が行われました

14 **MIC NEWS 04**  
データサイエンス・オンライン講座 [第3弾]  
誰でも使える統計オープンデータ  
～統計オープンデータを活用したデータサイエンスをわかりやすく解説～

16 **MIC NEWS 05**  
平成29年度  
総務省所管予算をご紹介します

20 **地方のかがやき**  
[沖縄県] 久米島町 先端技術が生まれ、未来を担う人が育つ。  
海流の島で夢をつむぐ人々



表紙の写真  
松崎幸一光による江戸節句人形の桃太郎。  
製作／株式会社松崎人形  
撮影／松津祐太郎



取材・文／葵和みどり

### 八十八夜の時期に摘まれる一番茶

「夏も近づく八十八夜」との歌い出しが印象的な「茶摘み」は、明治45年に作られました。今では、茶摘み娘もイベントのときくらいしか見られないようですが、そもそも八十八夜とはいつのことを指すかご存じですか。

八十八夜は、冬至、夏至といった「二十四節気」以外の季節の節目を示す特定の日である「雑節」の一つです。雑節には、ほかに節分や入梅、土用、彼岸などがあります。八十八夜は、立春から数えて八十八日目にあ

たる日で、今年は5月2日になります。

八十八夜は、春から夏を迎える準備をするのに縁起のよい日とされてきました。実際の茶摘みの時期は産地によって寒暖の差があるのでさまざまですが、この時期に手摘みされた一番茶は新茶と呼ばれ、縁起物としても重宝され、高級煎茶として売られます。碾茶（抹茶の原料）や玉露にも使われます。新茶は栄養的にも優れていて、うまみ成分のテアニンが豊富に含まれています。

## お茶の生産量

※12主産県の荒茶生産の調査結果から推計した数値 出典：「平成28年産作物統計(概数)」農林水産省統計部

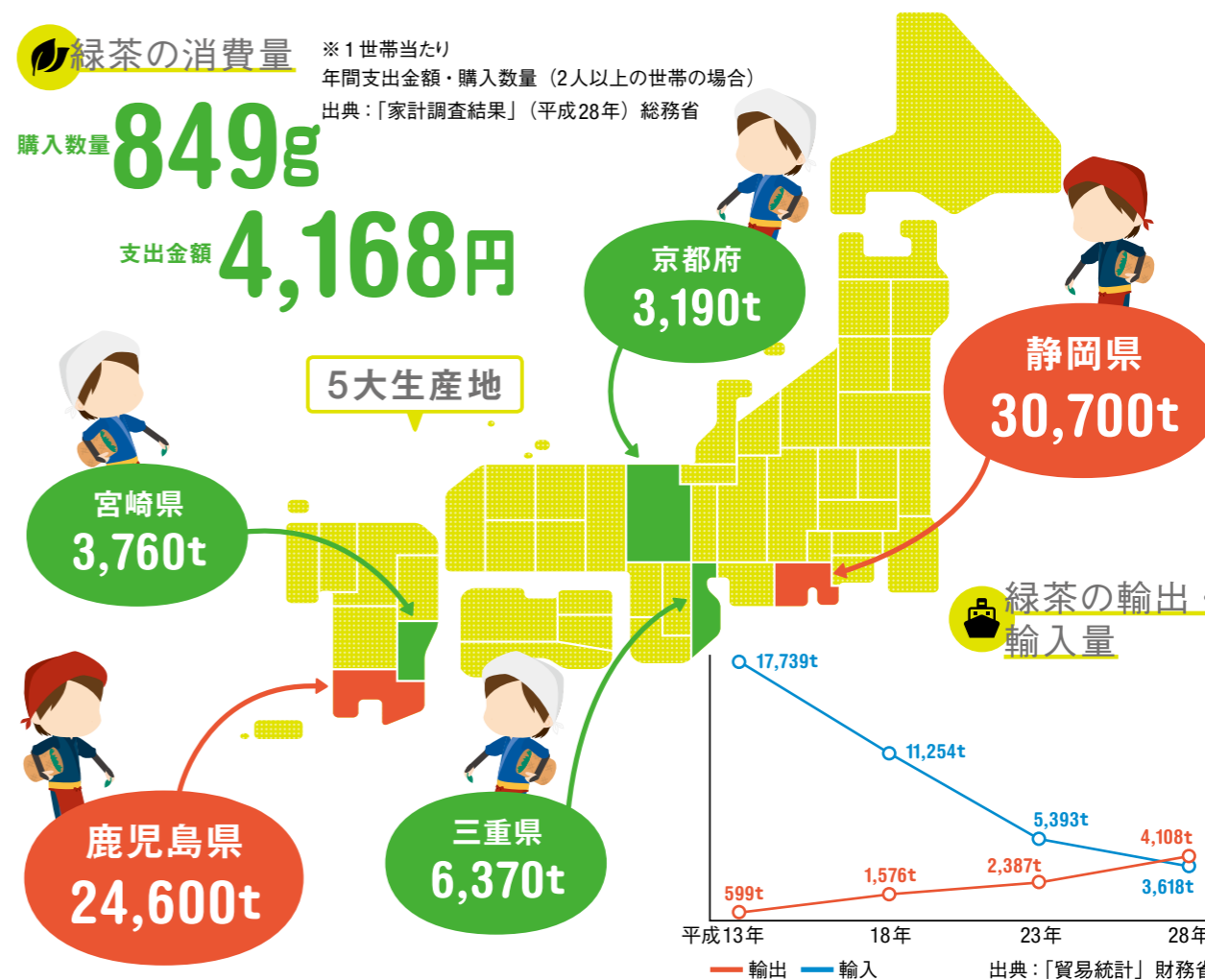
約 80,200 t

### 緑茶の消費量

※1世帯当たり  
年間支出金額・購入数量(2人以上の世帯の場合)  
出典：「家計調査結果」(平成28年)総務省

購入数量 849g

支出金額 4,168円



茶葉の国内消費は減少も海外では緑茶が大ブーム

日本茶(緑茶)の素となる荒茶の生産量は、昨年8万2000t。その半数以上が煎茶になりますが、茶葉の種別では「やぶきた」が7割以上を占めています。しかし、産地によって名称もさまざま。静岡県と鹿児島県が圧倒的な2大産地ですが、有名どころでは、静岡県の静岡茶や掛川茶、鹿児島県の知覧茶、京都府の宇治茶、埼玉県の狭山茶などがあります。

みなさんは、自宅でのくらしに緑茶を飲んでいますか? 緑茶(茶葉)の年間支出金額をみると、平成18年と比べて2割以上も減少しています。それに比べて、近年は緑茶を含む茶飲料やミネラルウォーターなどが伸びています。

一方、輸出では海外における緑茶や抹茶ブームで、年々増加傾向です。特にアメリカ、カナダ、ドイツ向けの輸出の伸びが高く、アメリカ向けは平成20年に776tだった輸出量が平成26年には2倍以上になっています。



特集

平成29年度

# 「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催

情報通信の発展に貢献した個人および団体に対して表彰を行います。

平成29年度 情報通信月間テーマ

## 「ICTが未来を拓く、豊かな社会」



表彰内容

- 1 「電波の日」総務大臣表彰（個人／団体）
- 2 「情報通信月間」総務大臣表彰（個人／団体）
- 3 「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞
- 4 情報通信月間推進協議会会長表彰（志田林三郎賞／情報通信功績賞）

総務省は、第67回「電波の日」（平成29年6月1日）および平成29年度「情報通信月間」（同年5月15日から6月15日まで）にあたり、6月1日に記念中央式典を行うこととしています。

記念中央式典においては、電波監理、電波利用または情報通信の発展に貢献した個人および団体に対して、総務大臣、情報通信月間推進協議会会長から表彰を行います。

情報通信月間の期間中は、「ICT（※）が未来を拓く、豊かな社会」をテーマに、情報通信月間推進協議会と総務省が一体となって、全国各地で情報通信に関するデモンストレーション、各種セミナーおよびシンポジウム等の多彩な行事を開催します。それら行事を通して、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展に寄与すること等について、国民の皆さまのご理解を求めていきたいと考えています。

平成29年度情報通信月間のテーマである「ICTが未来を拓く、豊かな社会」には、ICTの活用により、暮らしやすく働きやすい社会の実現を図ることへの期待が込められています。



## 平成28年度 情報通信月間行事の様子

平成28年度の情報通信月間は、「ICTで未来につなぐ 安心安全いきいき社会」をテーマとし、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されました。

※平成29年度の参加行事については、6～7ページをご覧ください。

平成28年度 実施行事 1



4K・8K特別展示及び8Kセミナー

北陸総合通信局管内

平成28年度 実施行事 4



ワイヤレス・テクノロジー・パーク2016 (WTP2016)

関東総合通信局管内

平成28年度 実施行事 3



ICTソリューションフェア2016 in 沖縄

沖縄総合通信事務所管内

平成28年度 実施行事 2



児童とその保護者向けプログラミング体験教室

東北総合通信局管内

平成28年度 実施行事 7



「しぶし志ネット」に触れてみよう

九州総合通信局管内

平成28年度 実施行事 6



防災情報通信セミナー

近畿総合通信局管内

平成28年度 実施行事 5



四国情報通信懇談会ICT研究交流フォーラム第17回技術セミナー

四国総合通信局管内

### 電波の日とは？

昭和25年6月1日に、電波法、放送法が施行され電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して国民各層の電波に関する知識の普及・向上と、電波利用の発展に役立つよう、6月1日を電波の日として制定したものです。

### 情報通信月間とは？

情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。5月15日～6月15日の期間中は、全国各地で様々な行事を実施し、豊かな生活を実現する情報通信について広く国民の理解と協力を求めていくこととしています。

## 四国総合通信局

**5月5日** 「こどもの日」  
電波適正利用周知・啓発活動  
◎高松市 さぬきこどもの国

「こどもの日」にあわせて、来館者に電波の適正な利用に関する周知啓発を行うイベント

**7月7日** えひめITフェア2017  
◎松山市 アイテムえひめ

産学官連携によるICT総合展示セミナー。ICTの最新動向と地域での活用事例を紹介

**7月7日** テレワーク関連セミナー  
◎松山市 アイテムえひめ

愛媛県におけるテレワーク環境の推進を図るための講演・パネルディスカッション

## 九州総合通信局

**5月17日** 非常通信セミナー  
◎熊本市 KKR ホテル熊本

非常災害時における情報伝達手段のあり方について理解を深める講演会

**6月8日** 電波利活用セミナー 2017  
～5GとITS・自動走行の実現に向けて～  
◎福岡市 福岡バスターミナル9階大ホール

電波の利用促進による地域づくりを目的としたセミナー

**6月20日** 電気通信分野における個人情報保護セミナー  
◎福岡市 八重洲博多ビル11階ホールA

電気通信分野における個人情報保護に関する現状と課題についてのセミナー

## 沖縄総合通信事務所

**5月18日** 防災通信講演会  
◎那覇市 沖縄産業支援センター3階中ホール

非常時における通信の円滑な運用の確保を図る必要性・重要性に対する理解を深めるため防災と情報等に関する講演会

**6月16日** 平成29年度情報通信月間講演会  
◎宮古島市 宮古島マリンターミナルビル

IoTの現状をメインテーマに、IoT施策の普及・促進を図るための講演会

**7月7日** 電気通信分野における  
改正個人情報保護法全国説明会  
◎那覇市 沖縄県市町村自治会館(4階第5～6会議室)

本年5月30日施行の個人情報保護法の改正に関する説明会



ここでご紹介したものの以外にも、たくさんの行事が予定されています。行事一覧は

<http://www.jtgkn.com>

(情報通信月間のホームページ) をご覧ください。

## 東海総合通信局

**5月24日** 情報通信セミナー 2017  
◎静岡市 ホテルセンチュリー静岡

IoT/ビッグデータの最新動向や活用事例などを紹介

**6月6日** 情報通信  
フロンティアセミナー  
◎名古屋市 ウィンクあいち

AIに関する将来展望、自治体によるユニークな活用事例紹介

**6月7日** 情報通信  
フロンティアセミナー  
◎名古屋市 ウィンクあいち

5Gにおける新たなサービス、ビジネスの創出など最新の情報を紹介

## 近畿総合通信局

**5月16日** 第1回全携協近畿地区セミナー  
◎大阪市 (株)ティーガイア会議室

消費者保護ルールの更なる理解のため、関西の携帯電話販売代理店の代表者を集め消費者支援連絡会の果たす役割、全携協の消費者保護施策の紹介をするセミナー

**5月25日** 第21回サイバー犯罪に関する  
白浜シンポジウム  
◎田辺市 和歌山県立情報交流センター「Big・U」

「先見の明 IoT & AI 犯罪の被害者をどう救うのか?」をテーマに、IoTやAIへのサイバー攻撃に対する対策や被害者の救済策について議論

**6月24日** 2017年度春季(第36回)情報通信学会大会  
及び国際コミュニケーション・フォーラム  
◎京都市 国立京都国際会館

IoTにより収集したデータをAIによって分析し新たな富を創出する事象に対し経済・社会的観点から議論・分析を行い、特質を明らかにするフォーラム

## 中国総合通信局

**未定** ワイヤレスIoTセミナー  
2017 in 岡山  
◎岡山市 オルガホール

5Gの動向とワイヤレスIoTサービスにおけるビジネスモデルの事例紹介を通じて、今後の地域経済の活性化、地域課題の解決を図るために行うセミナー

**6月1日** 電波の日・情報通信月間 記念講演会  
「獺祭(だっさい)×ICT～地方創生、その先へ～」  
◎広島市 合人社ウェンディひとまちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

ICT/IoTを活用した酒造りで成功している、旭酒造の桜井会長による記念講演会

**7月下旬** 青少年の情報リテラシー  
向上促進セミナー(仮称)  
◎広島市 会場は未定

ネットにおける青少年保護のため、教育関係者などで構成された「スマホ連絡会中国」構成員を対象とした、情報リテラシー向上促進セミナー

## 北海道総合通信局

**作品募集**  
4月1日～5月15日  
**北海道映像コンテスト2017**  
◎札幌市 表彰式を札幌市内で開催予定

北海道在住の学生、アマチュア、プロを対象とした映像コンテスト

**6月2日** 電気通信事業分野における  
個人情報保護セミナー  
～改正個人情報保護法全国説明会～  
◎札幌市 TKP 札幌駅カンファレンスセンター

本年5月30日施行の個人情報保護法の改正について説明

**6月13日** ICTサロン  
光高速通信の最新動向!  
◎札幌市 札幌市内

最新の高速情報通信技術を学ぶ

## 信越総合通信局

**5月23日** 信越情報通信懇談会  
平成29年度総会 記念講演会  
◎長野市 メルパルク長野

平成29年度の信越情報通信懇談会総会の開催に併せてICTに関する講演会を開催し、情報通信の普及促進に寄与

**6月17日** 長野ICT・4Kフォーラム  
◎長野市 犀北館ホテル

ICT・4Kを活用した地方創生の具体的な取組と今後の展開を考える

**6月17日** iステーション  
ラジオ工作教室  
◎飯田市 飯田商工会館

親子でFMラジオの工作後、ラジオ番組に出演し、自ら作ったラジオで聴く体験教室

## 北陸総合通信局

**5月18日** BS4K・8K  
試験放送受信公開  
◎金沢市 石川県産業展示館1号館

第32回いしかわ情報システムフェアにおいて、BS4K・8K試験放送の受信公開と受信環境整備に関する周知啓発

**5月31日** 「登山者位置検知システム利用モデル評価」  
報告セミナー  
◎富山市 富山県民会館

登山者位置検知システムの山岳地帯での有効性、山岳遭難者の確実な救助への有効性、今後の展望などを紹介するセミナー

**6月3日** 青少年安心・安全ネット  
環境推進セミナー in のと  
◎能登町 コンセールのと

青少年のスマートフォン等の利用時におけるトラブルや被害等の防止、フィルタリングの有効性等の具体的な事例や対策を学ぶためのセミナー

# 情報通信月間 参加行事のご案内

「ICTが未来を拓く、豊かな社会」をテーマに全国各地でイベントを開催いたします。お近くのイベント会場に足を運んでみてください。



## 東北総合通信局

**5月15日** 高齢者のための  
ネットショッピング講座  
◎石巻市、気仙沼市 会場は未定

高齢により、交通手段の確保や体力の低下等の問題で思うように買い物に出られない方々に、インターネットショッピング利用法やアカウント管理方法をサポート

**6月18日** 第20回秋田県高校ARDF大会  
(アマチュア無線方向探索)  
◎秋田市 秋田県立中央公園

電波の伝搬の様子を体験し、電波の性質を考え、電波に慣れ親しむための大会

**6月20日** ICTフェア in 東北2017  
◎仙台市 せんだいメディアテーク

東北の復興創生と課題解決、安全安心なICT利活用の事例等を幅広く周知・啓発

## 関東総合通信局

**5月24日** ワイヤレス・テクノロジー・パーク2017  
(WTP2017)  
◎江東区 東京ビッグサイト

無線通信技術の研究開発に焦点を当てた国内最大級のワイヤレス専門イベント

**5月27日** 親子で学ぶ電波教室  
◎真岡市 真岡市科学教育センター

電波の実験やラジオの組み立てを通じて、ルールを守って電波を利用することの大切さを学ぶための親子教室

**6月23日** ICT地域防災フォーラム2017  
～ローカル情報があなたを守る、情報団の可能性～  
◎千代田区 九段第3合同庁舎11階会議室

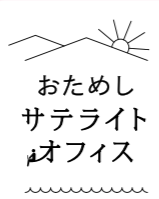
首都直下地震の課題は、同時多発火災と外出者の避難支援。鍵となる「情報団」によるローカル情報の共有を考えるフォーラム

総務省では、都市から地方への  
「ヒト・情報」の流れを  
創出するための取組を進めています

【お試しサテライトオフィス】

総務省が三大都市圏の企業に実施した企業ニーズ調査では、回答のあった約11,000社のうち3,000社以上の企業からサテライトオフィス開設の検討に関し前向きな回答がされるなど、サテライトオフィスに対するニーズは高まっています。

地方でのサテライトオフィス開設を進めるため、総務省が採択した地方公共団体において民間企業の「お試し勤務」を受け入れています。



<http://www.soumu.go.jp/satellite-office/>

【ふるさとテレワーク】

地方でも都市部と同じように働ける環境を実現し、都市部から地方への人や仕事の流れを促進する「ふるさとテレワーク」を推進するため、地方自治体や民間企業等に対し、サテライトオフィス等のテレワーク環境を整備するための費用の一部を補助する等の支援を行っています。



<http://www.furusato-telework.jp/>

地方移住や地域の魅力を様々な視点で発信  
「ローカルライフを楽しもう！  
移住交流フェア」が  
開催されました

2月12日に開催した「移住交流フェア」の様子と、  
総務省が推進する移住交流に関わる様々な取組についてご紹介します。

【地域おこし協力隊】

地域おこし協力隊は、おおむね1年以上3年以下の期間、地方自治体からの委嘱を受けて、地域で生活し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援をはじめ、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、定住・定着を図る取組です。総務省では、地域おこし協力隊員を平成28年に3,000人、平成32年に4,000人にするという目標に向けて取り組んできましたが、平成28年に活動した隊員が4,158人となり目標を前倒しで達成しました。



<https://www.facebook.com/chiikiokoshikyouryokutai/>

【移住・交流情報ガーデン】

「移住・交流情報ガーデン」は、総務省が開設した地方移住に関する情報提供や相談支援の一元的な窓口です。地方移住に関する一般的な相談に対応しているほか、地方での就農や就職などの相談には専門の相談員が対応します。また、移住に関するセミナー・移住相談会が随時開催されています。



開館時間：(平日)11:00～21:00 (土日)11:00～18:00  
所在地：東京都中央区京橋1丁目1-6 越前屋ビル  
<https://www.iju-navi.soumu.go.jp/ijunavi/garden/>



2月12日、東京国際フォーラムで「ローカルライフを楽しもう！移住交流フェア」が開催されました。  
メインステージでは、はじめに、主催者として登壇した高市早苗総務大臣が「東京一極集中の傾向が続いているが、最近では地方での新しいライフスタイルを実現するため、都市から地方を目指す若い世代の方々や女性の方々が増えているように見受けられます。このフェアが、地方移住について、はじめの一步を踏み出すきっかけにつながることを期待します」と挨拶。  
その後、「移住女子」による地方移住に関するエピソード紹介をはじめ、現役地域おこし協力隊員、隊員OBによるトーク

ステージ等が行われました。会場内では、民間企業の「お試し勤務」の受入等を行う自治体を紹介するお試しサテライトオフィスコーナー、働きながら田舎暮らしを学ぶ「ふるさとワーカーズホリデー」が始まる8道県のコーナー等、様々なコーナーが展開され多くの方に来場いただきました。



オープニングセレモニーで挨拶をする高市早苗総務大臣。



移住にまつわるエピソードを語る女優の佐藤藍子さん。



# 平成28年度 ふるさとづくり大賞の 受賞者を紹介します

平成28年度ふるさとづくり大賞の受賞者が決定し、内閣総理大臣賞(大賞)は3月に、それ以外の表彰は2月に表彰式が開催されました。

## 優秀賞 ● 鳥根県邑南町



### 地域資源を活かした「日本一の子育て村」 「A級グルメ立町」で定住促進

「日本一の子育て村構想(幅広い分野で子育てを応援する施策)」、「A級グルメ立町(町内の良質な農産物やここでしか味わえない食と体験をA級グルメと定義)」などの取組により定住を促進している。継続的な取組が続けられており、一過性にとどまらない長期的視点でビジョンをもち、地域活性化を推進している。

## 大賞 ● カール・ハインツ・ベンクス ● ヴィートリッヒ・クリスティーナ・ベンクス (新潟県十日町市)



### 古民家再生を外国人の視点で取組。地域活性化につなげた長年の功績

古民家が次々と取り壊される風潮に「宝石を捨てて砂利を買っている」と警鐘を鳴らし、古民家再生により里山の魅力を伝えるため、竹所集落で古民家の再生に取り組む。やがて過疎で衰退した村には子供の声も聞こえ、若い人たちの移住により村に笑顔と活力が生まれ「奇跡の村」と呼ばれるまでになった。さらに、彼の夫人も住民の一人として、竹所プロジェクトに積極的に携わっている。

全国各地で、それぞれのこころをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として、昭和58年度から実施している「ふるさとづくり大賞」。平成28年度で34回目を迎える歴史の長い賞で、今回の受賞者を含めてこれまでに合計1033団体・個人が受賞しています。また、ふるさとづくりに取り組む方々の励みになり、様々な活動がより一層活性化するように、平成26年度からは内閣総理大臣賞(大賞)が創設されました。各都道府県から推薦された候補を、ふるさとづくり懇談会(座長:月尾嘉男東京大学名誉教授)が審査し、その結果を踏まえて受賞者が決定されます。表彰対象は「団体表彰」、「地方自治体表彰」、「個人表彰」の3つで、そのうち最も優れたものを「大賞」、優れたものを「優秀賞」として表彰しています。

平成28年度は、古民家再生による地域活性化の長年の功績が評価された「カール・ハインツ

ベンクス、ヴィートリッヒクリスティーナ・ベンクス夫妻」が大賞に選ばれました。また、地域資源を活かした取組による定住促進が評価され、「鳥根県邑南町」が優秀賞に選ばれました。大賞のベンクス夫妻は、表彰創設以来初めてとなる夫婦での受

賞です。その他では、団体表彰に19団体、地方自治体表彰に5団体、個人表彰に3人がそれぞれ選ばれており、全体では29件(25団体、5名)が受賞となりました。内閣総理大臣賞である大賞は、平成29年3月27日(月)に総理官邸で、それ以外の表彰は、平成29年2月4日(土)に東京都千代田区の都市センターホテルで、それぞれ表彰式が開催されました。



表彰式後に、大賞のカール・ハインツ・ベンクス氏及び優秀賞の石橋良治鳥根県邑南町長、ふるさとづくり懇談会委員2名の計4名をパネリストとして、「地域の財産を活かす」をテーマにパネルディスカッションを実施。



富樫総務大臣政務官から表彰状を授与される優秀賞受賞の石橋良治鳥根県邑南町長。



総理官邸において、萩生田内閣官房副長官から表彰状を授与される大賞受賞のベンクス夫妻。

## 団体表彰(総務大臣賞)

- 北海道中標津農業高等学校【北海道中標津町】
  - 下内野自治会【岩手県一関市】
  - 千葉之家花駒座【福島県檜枝岐村】
  - 特定非営利活動法人自然塾寺子屋【群馬県甘楽町】
  - 特定非営利活動法人情報ステーション【千葉県船橋市】
  - チームよつら【千葉県四街道市】
  - 荒川バラの会【東京都荒川区】
  - 特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池【東京都八王子市】
  - 氷川台自治会【東京都東久留米市】
  - 日本大通り活性化委員会【神奈川県横浜市】
  - 社会福祉法人佛子園「シェア金沢」【石川県金沢市】
  - 一般社団法人三國會所【福井県坂井市】
  - プチ送迎ボランティア【長野県松本市】
  - 大野木長寿村まちづくり会社【滋賀県米原市】
  - 鳴り石の浜プロジェクト【鳥取県琴浦町】
  - やかげ小中高こども連合YKG60【岡山県矢掛町】
  - 遊子川地域活性化プロジェクトチーム【愛媛県西予市】
  - 北九州フィルム・コミッション【福岡県北九州市】
  - 水俣市寒川地区【熊本県水俣市】
- 計 19 団体

## 地方自治体表彰(総務大臣賞)

- 福島県只見町
  - 静岡県三島市
  - 滋賀県東近江市
  - 鳥取県
  - 大分県豊後高田市
- 計 5 団体

## 個人表彰(総務大臣賞)

- 内山 裕紀子【三重県尾鷲市】
  - 西辻 一真【京都府京都市】
  - 小松 圭子【高知県安芸市】
- 計 3 団体

「ICT地域活性化大賞2016」の表彰

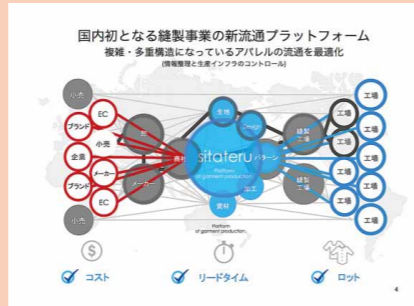
大賞 / 総務大臣賞

ICTによる衣服生産のプラットフォーム  
【シタテル株式会社（熊本県熊本市）】

地方（中小零細事業者）の雇用の価値向上と自由な衣服の生産インフラ構築を同時に実現。

施策の概要説明

衣服の生産を必要とする不特定多数の個人・アパレル事業者・メーカー等からの依頼を受け、熊本を中心とした全国の縫製工場に発注する際に、工場の生産キャパシティ（閑散期／繁忙期／生産対応アイテム対応生地及び資材、最大及び最小ロット／数／納期等）やリアルタイム稼働状況を加味し、依頼主（ブランド、小売店）のリクエストする品質・価格・納期にマッチする最適な工場を選定し採配する。現在、工場のIoTシステム開発・導入を進め、稼働状況把握の精度を上げている。



衣服生産の最適化

ICT有効活用により衣服の流通が「最適化」されユーザー事業者のニーズでもあり縫製工場の課題でもある「短納期・高品質・小ロット」の衣服の生産を実現し、現在人々の衣服生産のインフラとしてのバリューを発揮している。

施策の  
定量的な  
効果

縫製工場の余剰リソースを活用と、服づくりに困っていた人のオーダーが「循環」し経済効果を生み出した。  
[創業・設立：2014年3月から→2016年12月での変化]  
●登録事業者数100社→2,400社 ●事業内の市場流通総額5,000万円→約15億円 ●連携工場5工場→230工場  
●関連雇用数150人(1工場30人とした場合)→6,900人 ●平均量産生産リードタイム約70日→46日

優秀賞

ICTで創る新しい農業・教育のかたち  
【新潟市／株式会社 NTTドコモ】

佐渡地域医療連携ネットワーク「さどひまわりネット」  
【特定非営利活動法人佐渡地域医療連携推進協議会】

しずみち info・通行規制データのリアルタイム・オープン化  
【静岡県静岡市】

この他、奨励賞についても表彰状の授与を行いました。



地域ICTサミット2016で  
「ICT地域活性化大賞2016」の  
表彰式が行われました

各地域が抱える様々な課題への対応が求められるなか、IoT／センサー、クラウド、ビッグデータ等の技術の進展を背景に、それらの技術と地域のノウハウを結びつけたICT／IoT実装の成功モデルが創出されてきています。総務省では、3月7日（火）に地域ICTサミット2016を開催し、ICT／IoTの活用事例を紹介しながら、成功モデルの普及に向けた議論等を行いました。また、平成28年11月から12月にかけて募集を行った「ICT地域活性化大賞2016」の表彰式も行いました。



【パネルディスカッション】



【表彰状授与】

3月7日、東京ビッグサイトにて地域ICTサミット2016を開催

本サミットの前半では、「非連続に変化する産業構造—今、地方が面白い—」と題した基調講演（株式会社野村総合研究所 理事長 谷川史郎氏）や、「ICT地域活性化大賞2016」の受賞事例のプレゼンテーションを踏まえたパネルディスカッション「地域へのICT／IoTの実装に向けて」を行い、活発な意見交換がなされました（コーディネーター…日本経済新聞社編集委員 関口和一氏、パネリスト…慶應義塾常任理事・慶應義塾大学総合政策学部教授 國領二郎氏、「ICT地域活性化大賞2016」大賞／総務大臣賞及び優秀賞受賞団体代表者）。

昨年度の「ICT地域活性化大賞2016」では、応募いただいた多くの取組の中から表彰事例が決定しました。後半では「ICT地域活性化大賞2016」の表彰式を行い、あかま総務副大臣から表彰状の授与を行いました。

カリキュラム

Week 1

e-Statを使った  
データ分析

e-Statの統計データを活用した  
データ分析の事例、  
基本的な活用方法を学ぶ

- e-Statを活用したデータ分析事例① (簡単な分析事例)
- e-Statを活用したデータ分析事例② (複数データのマッシュアップ分析)
- e-Statを活用したデータ分析事例③ (マッシュアップのためのデータ加工作業)
- e-Statを活用したデータ分析事例④ (マッシュアップのためのリサーチデザイン)
- e-Statの主な機能
- e-Statの使い方(グラフの作成)

Week 2

統計  
GISの  
活用

統計データと地図を組み合わせた  
統計GISの活用方法を学ぶ

- 地図による小地域分析 (jSTAT MAP) ができること
- 簡単にできるレポート作成
- 活用事例 保育施設配置の検討
- 活用事例 避難施設配置の検討
- その他の機能とまとめ

Week 3

公的統計  
データの  
使い方

公的統計データの  
基本事項及び読み方を学ぶ

- 公的統計の種類と体系
- 労働力統計の読み方
- 家計統計の読み方
- その他の統計の読み方とまとめ

Week 4

統計オープン  
データの  
高度利用

統計API機能の仕組みや  
具体的な活用事例等の  
統計オープンデータの  
高度な活用方法を学ぶ

- 統計APIでできること
- 統計APIの仕組み
- 統計オープンデータの  
地方公共団体での活用事例
- 統計オープンデータのビジネス活用
- 統計オープンデータの  
利活用に向けて、講座のまとめ

講座の詳細と登録はこちら!

データサイエンス・オンライン講座ページ  
<http://gacco.org/stat-japan3/>

統計オープンデータ MOOC 検索



講座に関するQ&A

Q.1 データサイエンスとは?

A.1 統計局では、「データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力」のことを「データサイエンス」として、わが国の国際競争力を強化し、経済成長を加速化させるため、人材育成に取り組んでいます。

Q.2 「社会人のためのデータサイエンス入門・演習」を受講してなくても受講できますか?

A.2 はい。「社会人のためのデータサイエンス入門・演習」の受講を前提とした内容ではないので、初めての方も是非ご活用ください。

Q.3 これから「社会人のためのデータサイエンス入門・演習」を受講することは可能ですか?

A.3 平成29年度中にも「社会人のためのデータサイエンス入門・演習」を再開講する予定です。

Q.4 統計局ではほかにどんな人材育成の取組を実施していますか?

A.4 データの活用方法や統計に関する知識を気軽に学べる常設の学習サイト「データサイエンス・スクール」を運営しています。ビジネスへの活用に加え、統計検定に対応した学習も進められますので、是非ご活用ください。



<http://www.stat.go.jp/dss/index.htm>

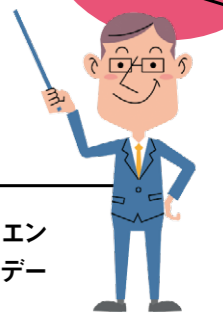


データサイエンス・オンライン講座 第3弾

誰でも使える  
統計オープンデータ

～統計オープンデータを活用した  
データサイエンスをわかりやすく解説～

6月6日  
開講!  
受講料無料

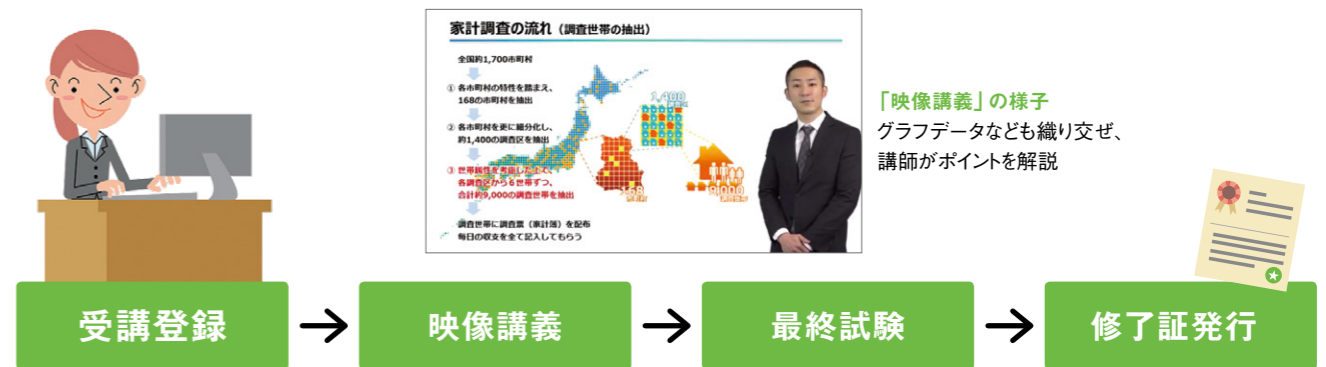


総務省統計局は、データサイエンス力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」及び「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講し、延べ6万1千人を超える多くの方に受講いただきました。この度、第3弾の講座として「誰でも使える統計オープンデータ」を6月6日(火)に開講予定です。本講座は、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっています。データ分析に興味があるなど、データサイエンス力を身につけたい方、この機会に受講登録してはいかがでしょうか?

概要・受講の流れ

- 講座はMOOC\*プラットフォーム「gacco」を通じて提供
- 1回10分程度×5～7回程度(1週間)×4週のビデオ講義
- 各週の確認テストと最終テストの実施

※MOOC= Massive Open Online Courses の略。  
インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。映像講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了証を発行。



掲示板のディスカッションで受講者同士の質疑応答、交流



一般会計  
平成29年度予算

⇒ 16兆 1,772億円



平成29年度  
総務省所管予算を  
ご紹介します

平成29年度総務省予算は、現在の重要課題に的確に対応しつつ、経済再生と財政健全化の両立を実現する予算であるという政府方針のもと、総務省が果たすべき使命である「地方創生と地域経済の好循環の確立」、「世界最先端のICT大国へ」、「国民の生命・生活を守る」、「暮らしやすく働きやすい社会の実現」、「未来を拓く行政基盤の確立」に取り組むために編成しました。

区分	平成29年度 予算額 A	平成28年度 予算額 B	比較増減額 (A-B) C	増減率 (C / B) %
地方交付税等財源繰入れ	155,671	152,811	2,860	1.9
一般歳出	6,101	7,104	▲ 1,003	▲ 14.1
恩給費	2,793	3,245	▲ 452	▲ 13.9
その他政策的経費	3,308	3,859	▲ 550	▲ 14.3
<b>総務省所管合計</b>	<b>161,772</b>	<b>159,914</b>	<b>1,858</b>	<b>1.2</b>

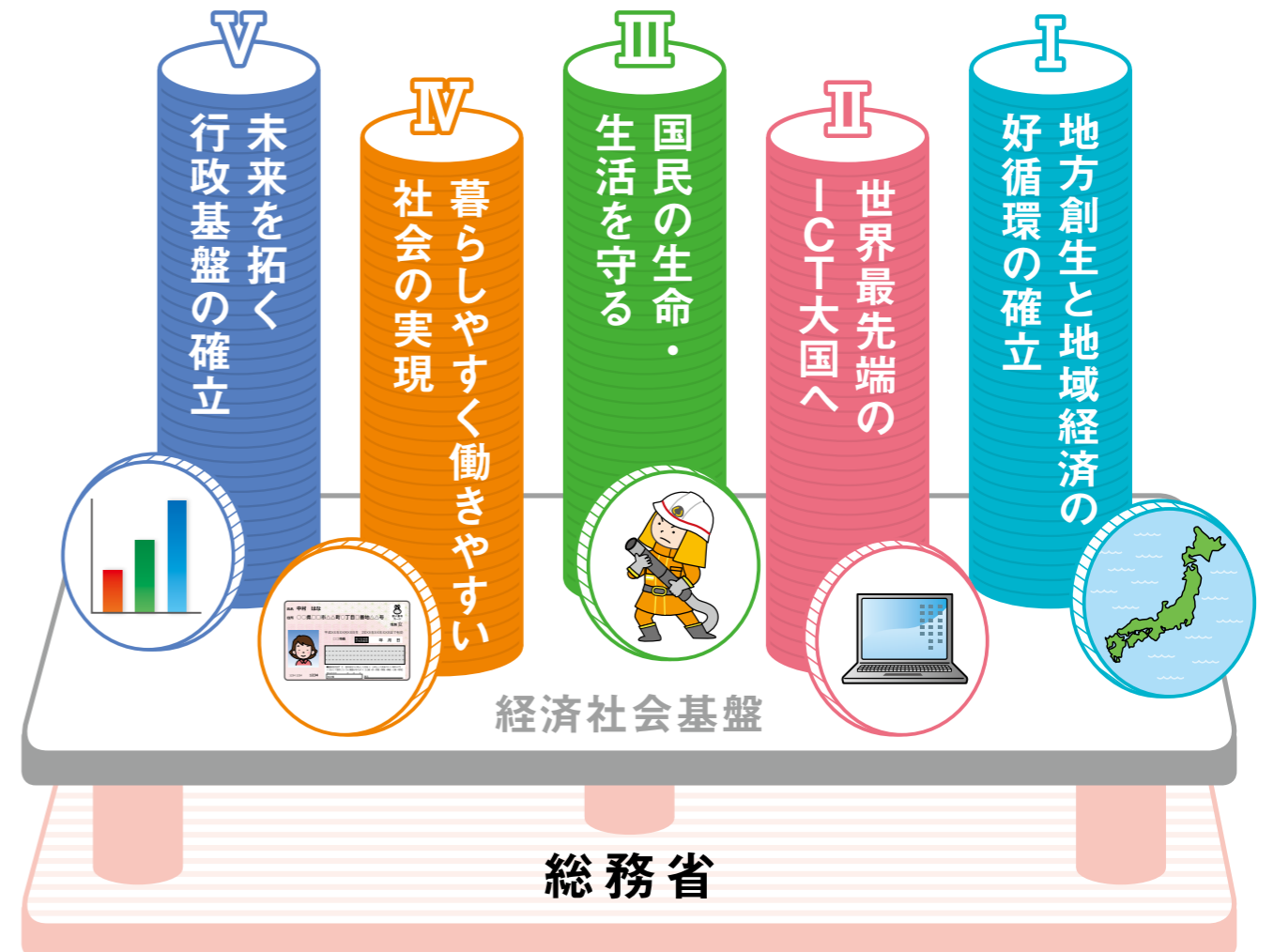
※ 計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

東日本大震災復興特別会計  
平成29年度予算 (総務省関係分)

⇒ 3,443億円

区分	平成29年度 予算額 A	平成28年度 予算額 B	比較増減額 (A-B) C	増減率 (C / B) %
総務省所管計上額 (地方交付税)	3,425	3,478	▲ 53	▲ 1.5
復興庁所管計上額	18	66	▲ 48	▲ 73.1
<b>総務省関係費合計</b>	<b>3,443</b>	<b>3,543</b>	<b>▲ 100</b>	<b>▲ 2.8</b>

※ 計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。



## III 国民の生命・生活を守る



### 東日本大震災からの復興の着実な推進 3,481.2億円

- 復旧・復興の着実な推進……………3463.5億円
- 被災地における消防防災体制の充実強化……………13.0億円
- ICTによる復興の推進……………4.7億円

### 消防防災行政の推進 103.2億円

- 熊本地震等を踏まえた消防防災体制の強化……………57.1億円\*  
※57.1億円は以下の施策の内数
- 大規模災害に備えた緊急消防援助隊の強化……………60.7億円
- 様々な災害に対応するための常備消防隊等の強化……………16.9億円
- 地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化……………6.7億円
- 火災予防対策の推進……………3.8億円
- 消防防災分野における女性の活躍促進……………0.5億円
- 防災情報の伝達体制の整備……………13.2億円
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の円滑な開催に向けた大都市等の安心・安全対策の推進……………1.4億円

## IV 暮らしやすく働きやすい社会の実現



### 一億総活躍社会の実現に向けた取組の推進 6.7億円

- 女性の活躍支援（テレワーク・女性地方公務員の活躍促進・マイナンバーカード等への旧姓併記等）……………6.7億円
- 「異能vation」プログラム等の推進……………15.3億円の内数

### ICTによる社会的課題の解決 22.3億円

- 医療・教育分野等のICTの活用……………6.4億円
- 情報バリアフリーの促進……………4.0億円
- 若者・スタートアップ等を対象としたIoT人材育成……………2.5億円（新規）
- 自動走行・自律ロボット等による行動支援・生産性向上……………9.5億円

## V 未来を拓く行政基盤の確立



### 行政のBPR推進・ICT化 174.5億円

- 行政のICT化の推進、政府情報セキュリティ・ICT人材の育成強化……………163.1億円
- マイナンバーカードを活用した電子調達の効率化……………8.4億円
- 自治体クラウドの導入の促進等……………0.4億円
- 地方自治体における行政サービスのオープン化・アウトソーシング等の推進……………1.0億円
- 上質の政策評価によるエビデンスに基づく政策の企画・立案の推進……………0.4億円
- 地方組織の見直し、ICTの活用等による行政評価局調査機能、行政相談機能の強化……………1.2億円

### ICTの安心・安全の確保 265.6億円

- 安心・安全なICT利用環境の整備（消費者保護・社会的課題への対応等）……………203.8億円
- サイバーセキュリティの強化……………18.8億円
- 放送ネットワークの強靱化……………35.0億円
- インターネットの適正な利用の推進……………3.3億円の内数
- G空間2.0（Lアラートの高度利用・普及促進等）……………2.2億円
- 災害応急活動（自治体・医療機関等）における非常用通信手段の活用促進……………2.5億円（新規）
- 自治体の情報セキュリティ対策の強化……………3.3億円（新規）

### 恩給の適切な支給 2,804.0億円

- 恩給の適切な支給……………2,804.0億円

### マイナンバー制度の着実な実施とマイナンバーカードの利活用の促進 230.9億円

- マイナンバーカード・公的個人認証サービス等の利活用推進……………230.7億円
- 地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクトの展開（マイナンバーカードの活用）……………0.3億円（新規）

### 郵政民営化の着実な推進 4.3億円

- 郵政事業の新たな展開とユニバーサルサービスの確保……………4.3億円

### 適時的確な統計の整備・提供 30.6億円

- 家計調査の改善、個人消費動向を捉える新たな指標の開発……………9.2億円
- ビッグデータなど新たな情報源の活用の検討……………0.4億円
- 公的統計の精度向上の仕組み（PDCAサイクル）の構築等……………5.9億円
- 公的統計における情報通信技術の国際展開……………0.4億円
- 統計オープンデータの高度化……………14.7億円

### 主権者教育の推進 1.4億円

- 民主主義の担い手である若者に対する主権者教育の推進……………1.4億円

### その他の主要事項 317.7億円

- 政党交付金……………317.7億円

# 総務省が果たすべき5つの使命に取り組んでいきます

## I 地方創生と地域経済の好循環の確立



### 地域経済の好循環の確立、地域の連携、自立促進に向けた取組 40.3億円

- チャレンジ・ふるさとワーク、ローカル10,000プロジェクトなど地域経済好循環推進プロジェクトの更なる推進……………27.8億円
- 新たな圏域づくりとして連携中枢都市圏・定住自立圏・集落ネットワーク圏の推進……………5.3億円
- 地域の自立促進（地方への移住・交流の推進、地域おこし協力隊の拡充、地域運営組織の形成促進、JETの活用等）……………3.1億円
- 過疎対策の推進……………2.9億円
- 地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクトの展開（マイナンバーカードの活用）……………0.3億円（新規）
- 統計データ利活用の促進及び拠点整備……………0.8億円（新規）

### ICTを活用した地域の活性化 157.9億円

- 地域のICT基盤整備（ブロードバンド・モバイル・Wi-Fi等）……………145.1億円
- ICTを活用した街づくり等の推進……………5.1億円
- 地域課題解決に資する取組へのICT専門家の派遣……………1.4億円
- 地方創生に資する新たなテレワーク（ふるさとテレワーク）の推進……………6.3億円

### 一億総活躍社会の実現と地方創生の推進の基盤となる安定的な地方税財源の確保 164,981.4億円

- 地方の一般財源総額の確保と地方財政の健全化等……………164,981.4億円

## II 世界最先端のICT大国へ



### 生産性向上につながるIoT・ビッグデータ・AI等の活用推進 25.8億円

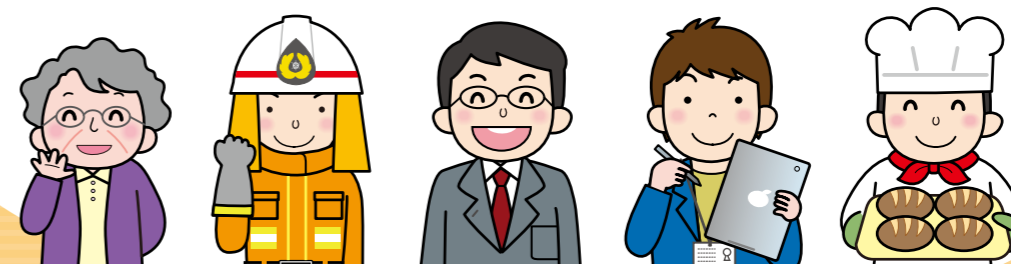
- オープンデータ・ビッグデータ・クラウドの活用推進を通じた地域産業などの生産性向上……………4.0億円
- 「IoT/BD/AI情報通信プラットフォーム」の構築と社会実装の推進……………6.0億円（新規）
- 次世代人工知能技術の研究開発……………4.1億円（新規）
- IoTのサービス創出支援と産学官連携による推進強化……………8.2億円
- 若年層に対するプログラミング教育の推進……………1.5億円
- IoTを支えるネットワークに関わる人材育成……………2.1億円（新規）

### 新たなイノベーションを創出する世界最高水準のICT社会の実現 523.5億円

- 都市サービスの高度化（個人属性に応じた情報提供）……………2.5億円
- 4K・8Kの推進……………24.8億円
- グローバルコミュニケーション計画の推進……………12.6億円
- 競争的資金による新たなイノベーションの創出……………18.2億円
- 戦略的な国際標準化の推進……………21.0億円
- 5G・光等の世界最高レベルのICT基盤の実現……………433.9億円
- 2020年に向けた電波利用環境の整備……………10.6億円

### ICT海外展開・国際的な政策連携 63.8億円

- 通信、放送システム、防災/医療ICT、セキュリティ、無線システム、郵便、放送コンテンツ等の面的・多段的海外展開……………28.3億円
- 国際放送の実施……………35.4億円
- 行政相談制度の海外発信……………0.1億円



【沖縄県】

# 久米島町

くめしまちょう



先端技術が育まれ、  
未来を担う人が育つ。  
海流の島で  
夢をつむぐ人々

山からの湧水と深い海からの海水。2つの水で潤う島

ハテの浜

メーヌハマ ナカヌハマ  
前の浜、中の浜、  
果ての浜を総称し  
てハテの浜と呼ぶ。  
連なる白い州は5km  
以上にわたる。

ミーフガー

島の北部にある岸  
壁。空洞を持つ「女  
岩」を拝めば子宝  
に恵まれる、と伝え  
られる。

久米島ウミガメ館

絶滅の危機に瀕するウミガメ類の調査研究と保護を行う。生体展示などで生態を学べる。



ハーリー

旧暦5月4日に行われる祭。爬竜船で速さを競い、大漁と航海安全を祈願する。



宇江城城跡

標高約310mと県内で最も高い宇江城岳の山頂に築かれた城の跡。島を一望できる。



イーフビーチ

きめ細かな白い砂の浜が2kmほど続く。「日本の渚百選」に選出された。



車エビ

40年ほど前に養殖を始めた久米島町は、今や全国の収穫量の約15%を占める日本一の産地。



沖縄角力

豊作を祈願して6月中旬から各地で行われる。相手の背中を地面につけたら勝ち。



泡盛

島には「久米島の久米仙」と「米島酒造」という2つの醸造所があり、島民の人気を二分する。寝かせると味わいが増す。



上江洲家

具志川城主の末裔、上江洲家の屋敷。18世紀の中頃に建てられた国の重要文化財。



壘石

六角形の奇岩群。溶岩が冷えて収縮する際、規則的に割れたとされる。国の天然記念物。



久米島町 DATA

人口：7,982人  
(2017年3月末現在)  
面積：63.65km<sup>2</sup>  
町の木：リュウキュウマツ、フクギ  
町の花：クメジマツツジ、久米紅  
役場所在地：沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870番地

自給自足が可能な島で  
進む新たな挑戦

沖縄本島の西方100kmの東シナ海に連なる久米島、奥武島とオーハ島の有人島のほか、そこから北東に200kmも離れた無人島の硫黄島も久米島町に含まれます。

1903年に硫黄島で噴火が起きたとき、移住地を準備して全島民を迎えたのが久米島でした。多くの人を受け入れることができたのは離島ながら水に恵まれ、自給自足が可能な環境にあったためです。今ではサトウキビへの転作で水田は少なくなりましたが、かつて島に住む人たちは岩の間から湧く泉をせき止め、盛んに稲作を行っていました。目の前には「漁場の中に島がある」と言われるほど魚種が豊富な海も広がっています。

島を縁取るサンゴ礁はダイビングスポットが多く、マンタやジンベイザメを見かけることも深い山もあり、ラムサール条約に登録された溪流や湿地には、クメジマボタルやキクザトサワヘビなどの固有種が生息します。訪れる者を魅了してやまない自然を残す久米島は、先端技術の揺りかごでもあります。2013年度に久米島全域でWiFi環境が整い、農産物の取引や観光情報の提供に活用。また、島の東部には発電や水産養殖などに海洋深層水を利用する産業が集積して目覚ましい成果をあげています。

人を温かく受け入れてきた島には今も志を持つ人々が集い、先端技術や伝統文化を育んでいます。



## 生活に役立つ情報を発信 「島ぐらしコンシェルジュ」

久米島町への移住・定住の推進を目的として、「島ぐらしコンシェルジュ」が昨年5月に発足しました。町の仕事・住宅・暮らし・子育てなどの情報を収集し、ホームページ「島ぐらしガイド」等で発信しています。発足後半年間で94件の移住相談に対応し、16人が移住を決めました。

埼玉県出身で、IT系企業勤務などを経て島ぐらしコンシェルジュとなった石坂達さんは「私を含め久米島町では15人の地域おこし協力隊が活動しています。島が抱える課題を解決する一員になりたいという想いを持って移住する人が少なくありません」と力強く語ります。



上／町営塾のゼミ形式の授業。討論やプレゼンを通して社会人としての基礎的な力を養う。  
下／町外からの留学生の宿泊施設と、町営塾「久米島学習センター」を兼ね備えた交流学习センター「じんぶん館」。

町唯一の高校である県立久米島高校の関係者と地域の有志が力を合わせて具体化してきた「久米島高校魅力化プロジェクト」には3つの柱があります。

1つ目は、生徒がグループを作り、町が抱える課題の解決策を探究していく「まちづくりプロジェクト」などからなる授業の魅力化です。

2つ目は町外から生徒を迎え入れる「離島留学制度」で、年々応募が増え、この4月に12人が入学してきました。昨年には留学生が生活する町営寮を併設する「じんぶん館」も完成し、2人の寮ハウスマスターが生徒の自主性を重んじつつ、健康面と安全面から寮生活を見守っています。

3つ目が学力向上や希望する進路の実現をサポートする町営の塾として2015年度に開校した「久米島学習センター」です。ここでは高校生一人ひとりの進路や習熟度に合わせて指導します。仕切りを設けない教室で、自習する人、個別指導を受ける人など多様な形態の学習を同時に行っています。推薦指導にも力を入れており、大学に進んで何を学びたいか、1年かけて講師との対話を重ねるようにしています。

5人の講師と生徒の寮生活を見守る2人の寮ハウスマスターは、いずれも地域おこし協力隊のメンバーです。兵庫県出身の初代塾長・山本愛美さんは「純粋で素直でやる気に満ちている島の子どもたちがエネルギーを傾けられる感じています」と微笑みます。

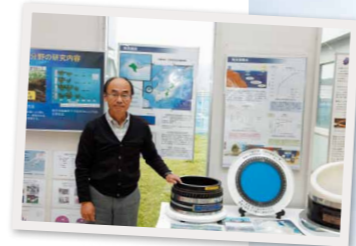


相談窓口を置くのは、赤瓦葺きの古民家を改修したコワーキングスペース。コンシェルジュは3人とも町外の出身。

## 久米島町の取組2

# 3つの柱で生徒の未来を拓く 久米島高校魅力化プロジェクト

〈離島留学制度・授業の魅力化・学習センター〉



右／100kW規模の発電能力の海洋温度差発電実証施設。左／沖縄県海洋深層水研究所の所長・鹿熊信一郎さん。



久米島町が生産量日本一の海ブドウを年間約200t生産する久米島海洋深層水開発株式会社の場合、仲道司さん。水温が高くなると成長が速まり、粒と粒の間隔があいて形が崩れる。



牡蠣の陸上養殖の実証実験に成功した株式会社ジーオー・ファームのみなさん。量産化による市場流通に向け、施設の増設を計画している。

## 久米島町の取組1

# 深層の海水を多段階で利用する 久米島モデルの確立に向けて

〈海洋深層水の活用〉

太陽の光がほとんど届かない深い海からくみ上げる海洋深層水は、清浄で微生物が少なく、無機塩類（窒素・リン・ケイ酸）を多く含み、水温が9度前後で安定しているといった特性をもちます。

久米島町は2010年度の「海洋深層水複合利用基本調査」で食料やクリーンエネルギーを自給する計画を立案。産業を振興、雇用を創出する「久米島モデル」の確立に向けた取組を進めてきました。

島の東部に置かれた沖縄県海洋深層水研究所は沖合2・3km、水深612mから1日に1万3000tの深層水をくみ上げ

出荷作業には用いられる。久米島漁業協同組合では水揚げした車エビを冬眠状態にして選別や箱詰めを行う。



3000tの深層水をくみ上げ、海ブドウの養殖では夏に水温が高くなり過ぎるのを防ぐため、深層水と表層水をブレンドしてコントロールしています。

また、民間の養殖事業者が、深層水を使った牡蠣の陸上養殖とその飼料となる微細藻類の培養の実証実験に成功しました。

さらに飲料水や塩、化粧品品の原料など用途は多岐にわたります。町の深層水関連事業の売上は昨年度、25億円に達しました。数々のプロジェクトが進行し、供給が逼迫する中、取水量を日量10万tに増強することが目下の目標となっています。

深層水は民間にも分水され、例えば車エビの養殖に使われています。以前は九州などで買いつけた親エビに産卵させたのですが、深層水を利用することでウイルスによる汚染の心配がなく、周年で稚エビを生産できます。

海ブドウの養殖では夏に水温が高くなり過ぎるのを防ぐため、深層水と表層水をブレンドしてコントロールしています。

## Column 後継者育成

### 産業や伝統文化の担い手を育てる

3,000頭近い繁殖用の牛が飼育されている久米島町では広報活動や農協の指導などで畜産の後継者育成を図っています。2013年度からの4年間に県の新規就農事業の給付金を受けたのは23名、うち9名が畜産関係でした。一昨年には農業青年クラブも再始動しています。

町では伝統文化の久米島紬の継承にも力を入れています。国の補助を受けた後継者育成事業で毎年8人の研修生を養成しており、織り手も100人を超えるまでになり、生産量が安定することに。大正時代に途絶えた久米島古来の繭（琉球多産繭）も2012年に復活しています。染めから織りまで1人の織子がこなすのが特徴の久米島紬。天然の草木と泥で染めた布には作り手の思いが込められています。



しなやかな風合いが魅力。久米島紬の制作技術は国の重要無形文化財に指定されている。





# ICTが未来を拓く、豊かな社会



6月1日は  
**電波の日**

5月15日～6月15日は  
**情報通信月間**

## ICTを活用した地域の活性化

- 地域のICT基盤整備 (ブロードバンド・モバイル・Wi-Fi等)
- ICTを活用した街づくり等の推進
- 地域課題解決に資する取組へのICT専門家の派遣
- 地方創生に資する新たなテレワーク (ふるさとテレワーク)の推進

## 暮らしやすく働きやすい社会の実現

- 医療・教育分野等のICTの活用
- 情報バリアフリーの促進
- 若者・スタートアップ等を対象としたIoT人材育成
- 自動走行・自律ロボット等による行動支援・生産性向上

## 世界最先端のICT大国へ

- ICTの利活用促進を通じて第4次産業革命を実現
- 社会全体のICT化の推進による更なる成長への貢献
- ICTの海外展開等による世界への貢献